

令和1年度 事業報告

社会福祉法人 浄蓮福社会

浄蓮寺保育園

□ 法人本部区分

(1) 理事会開催実績

決 済 事 項

令和1年6月8日

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度監事監査報告
- ・平成30年度決算書類の承認
- ・平成30年度財産目録の承認
- ・理事長職務執行状況報告
- ・役員任期重任の件

令和1年6月23日

- ・評議員会報告
- ・理事長の選任
- ・監事の選任

令和1年11月24日

- ・行政指導監査報告
- ・諸規定の改定・整備
- ・補正予算
- ・理事長職務執行状況報告

令和2年3月15日

- ・令和2年度事業計画
- ・令和2年度期首予算

(2) 評議員会開催実績

令和1年6月23日

- ・平成30年度事業報告
- ・平成30年度監事監査報告
- ・法人役員の改正について

(3) 監事監査実績（平成30年度事業に係る）

令和1年6月1日

- ・指摘すべき事項なし。

(4) 指導監査の結果（平成30年度事業に係る監査の結果）

令和1年10月8日

- 施設運営
 - ・非常勤職員の雇用契約書について労働条件の明示すべき事項を満たすこと。
 - ・運営規程に区分ごとの利用定員が記載されていないため追記すること。
 - ・時間外労働、休日労働に関する協定の届出は協定期間の始期以前に届け出ること。
 - ・時間単位年休を与える場合の就業規則の規定と実態が異なるので整理すること。
 - ・雇入れ時の健康診断は規定されている項目をもれなく実施すること。
- 児童処遇 特になし
- 会計
 - ・随意契約の場合、3社又は2社以上の業者から見積書を徴すること。契約書を省略する場合、請書を作成すること。
 - ・寄附金の受領に際しては理事長の承認を受けること。
 - ・立替払いは認められない。
 - ・業務委託に係る契約書は確実に保管すること。

□ 施設区分

(1) 職員配置

職員数 26名

園長1 主任保育士1 副主任保育士1 保育士16 (内8名は非常勤)

栄養士1 調理員2 (内1名非常勤) 事務員1 用務員2 (内1名は非常勤)

バス乗務員1 (非常勤)

(2) 入所児童数

直方市・北九州市より受入

() 受託児童数

		0才	1才	2才	3才	4才	5才	合計
4	標準	4	7	11	9	14	21	66
	短時間	1	4	1	0	1 (1)	0	7 (1)
5	標準	5	9	11	10	14	22	71
	短時間	0	3	1	0	1 (1)	0	5 (1)
6	標準	4	9	11	10	14	22	70
	短時間	0	3	1	2	1 (1)	0	7 (1)
7	標準	5	9	11	10	14	22	71
	短時間	0	3	1	2	1 (1)	0	7 (1)
8	標準	6 (1)	9	11	10	14	22	72 (1)
	短時間	0	3	1	2	1 (1)	0	7 (1)
9	標準	6 (1)	9	11	10	14	22	72 (1)
	短時間	0	3	1	2	1 (1)	0	7 (1)
10	標準	6 (1)	9	11	10	14	22	72 (1)
	短時間	0	3	1	2	1 (1)	0	7 (1)
11	標準	6 (1)	9	11	11	14	22	73 (1)
	短時間	0	3	1	1	1 (1)	0	6 (1)
12	標準	6 (1)	10	11	12	14	22	75 (1)
	短時間	0	2	1	0	1 (1)	0	4 (1)
1	標準	6 (1)	10	11	12	14	22	75 (1)
	短時間	0	2	1	0	1 (1)	0	4 (1)
2	標準	6 (1)	11	11	12	14	22	76 (1)
	短時間	0	1	1	0	1 (1)	0	3 (1)
3	標準	6 (1)	11	11	12	14	22	76 (1)
	短時間	0	1	1	0	1 (1)	0	3 (1)
合計	標準	66 (8)	112	132	128	168	263	869 (8)
	短時間	1	31	12	11	12 (12)	0	67 (12)
		67 (8)	143	144	139	180 (12)	263	936 (20)

(3) 補助金等

令和1年度 補助金

延長保育事業補助金	300,000円
障害児保育事業補助金	3,329,200円
多子世帯給食費補助金	54,000円
新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助金	495,000円

令和1年度 寄附金

父母の会	120,000円
------	----------

(4) 施設及び設備の整備実績

(備品等)

・給食室冷凍冷蔵庫	500,000円
・散歩兼避難車(乳母車)	162,000円
・プラズマクラスター空気清浄機3台	448,800円

(大型工事・修繕費)

・花壇・ピオトープ取り壊し工事	682,000円
-----------------	----------

(5) 職員会議及び職員研修等の実績

・職員会議	月1回	園内研修	年齢別に月1回
・研修	・キャリアアップ研修		
	・福岡県保育協会研修会		
	・筑豊地区研修会		
	・直方市保育協会研修会		

(6) 要望・苦情等に関する報告

意見・要望等受付担当者	主任保育士	高石	未応
意見・要望等の相談解決責任者	園長	小山	唯信
第三者委員		栗山	一
第三者委員		宇野	紀子

・令和1年度の苦情解決の状況について

第三者委員への申し立てはなかった。

苦情等では、保護者より、一保育士に対する苦情の申し出があった。

苦情解決担当者等と話を重ね、園内で解決した。保護者を集め、経緯と結果を報告した。

第三者委員に対して顛末及び対応措置の報告を行い、了承された。

(7) 令和1年度浄蓮寺保育園保育事業報告

● 保育理念

社会福祉法人浄蓮福祉会の運営する浄蓮寺保育園は、児童福祉法に基づき「保育に欠ける」乳幼児の心身の発達を助長し、養護と教育が一体となって豊かな人間性を健やかに育成する。保育にあたっては、子どもの人権や主体性を尊重し児童の最善の利益のために家庭や地域社会と連携を図り、保育所の協力のもと家庭援助を行うとともに児童の福祉を積極的に増進するように努め、子育て支援に貢献する。

● 保育目標

- ・乳幼児の発達の筋道を正しくとらえ、情緒豊かな素直で明るい健康な子どもを育てる。
- ・恵まれた自然環境を活用し、心身の調和的発達を図り、集団生活の中で情緒を安定させる。
 1. 体育遊びを積極的に取り入れ、心と身体をたくましくする。
 2. ひとりひとりを大切にし、こころ豊かな思いやりを育てる。
 3. 健康安全など日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。
 4. 人の話を良く聴き、自分の考えを正しく伝えられる力を身につける
 5. 表現活動を通じて創造力を養う。

● 一年の反省

1. 平成30年度は事故（怪我）の件数は14件であり前年より5件多かった。
(この内、治療に30日を要する事故は0件で、軽微なものが多かった。)
2. 保護者からの強い要望で、年度途中で担任の交代を行った。教育・保育の質の向上をめざしてきたが、保育士の中に、基礎的な知識や構えに問題を抱えている事例が見つかった。基礎的な研修の積み重ねが必要だったことを痛感した。意識改革の意味も込めて研修体制を見直し、園内研修の更なる充実を図り、職員の資質の向上を目指したい。
3. 今年も大きな事故なく無事1年を終えることができた。気候の変動も激しくなっており、どんな事態になっても対応できるように日頃から訓練を積み、職員全員が対応を熟知しておく必要がある。
4. 新型コロナウイルス感染拡大防止のために年度末の行事を縮小・中止せざるを得なかった。次年度についても、多くの検討と、きめ細かな対応が求められる。
5. 国による保育士等の処遇改善策もあり賃金面も改善され、休みも取りやすくして、より働きやすい職場を目指しているが、相変わらず地域が慢性的な保育士不足の状態である。ただ、地域の子どもの数も、目に見えて減少してきており、今後は保育士の確保も様子を見ながら行っていくべきだと思われる。

浄蓮福祉会における現状と課題

保育士の若返りの必要性を痛感する。それと、創造保育実践のためのキャリアの必要性との両立が課題である。

複雑な家庭事情により情緒の安定性に問題のある子を散見する。効果的な対応を求める必要がある。

I. 事業方針について

① 入所児童について

当園は所在地が山の中に位置するため園児の送迎に不便である。

そのため未満児の入所が少ないが平成30年度は、保育士不足により未満児だけでなく全

体の入所人数を減らして定員に満たなかった。園に対しての支持者を増やしていく必要がある。また、定員の確保のためには、保護者に対して安心感を与える発信をしていく必要がある。

② 特別保育事業

乳児保育

事業目的：乳児を受け入れ保護者が安心して働き続けるためと子どもの発達保証を目的とする。

延長保育 通常保育時間（11時間）を超えて実施する保育時間

事業目的；保護者の就労時間形態の変化に伴い、保育時間を1時間延長し対応する。

2.研修会について

創造保育研究会の実技研修（各年齢別に植木保育園と合同で、原則月1回園内研修を実施する）。さらに保育園団体が主催する研修会・福岡県保育協会主催の研修にも参加する。又直方市保育協会の会員となり直方市保育協会が主催する研修に参加し自己研鑽している。

3.安全管理について

消火訓練.避難訓練は毎月1回実施し.土砂災害.地震.不審者防犯訓練等も年1回実施している。また、防災計画を作成し、これに沿った安全管理、防災に心がけている。園児に対して防災の紙芝居やお話をしている。子どもたちも関心をもって聞いている。

4.健康管理について

園児は定期的に年2回の内科健診,歯科検診を行っている。また、尿検査も年2回行った。職員は年1回の健康診断を行うとともに給食、乳児担当の保育士は毎月検便を実施している。また、感染症対策等健康管理に細心の注意を払っている。令和元年度はインフルエンザの流行時も感染者が少なく欠席者が少なかった。年度末近くに新型コロナウイルス感染拡大予防のため、保護者への家庭での検温依頼、朝の受入時の検温を実施することとした。なお、園医と機会ある毎に流行している感染症等の情報交換を行い、感染症の予防に役立てている。

5.地域交流について

高齢者との交流は、福智の杜、生き生きホームの訪問を続け高齢者に喜ばれているが、新年度は、新型コロナウイルス感染拡大・蔓延が予想されるため、実施できない可能性が高い。